

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当(☎6550)までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

地域のみんでウォーキング!

川原再発見ウォーキングを実施

6月14日(日)、川原地区と川原地区ため池協議会による「川原再発見ウォーキング」が開催され、小さなお子さんから高齢の方まで幅広い年代の地区住民の方が約100名参加されました。

川原作業所をスタートし、庵用津溜(あんようづぶだめ)園城跡(おんじょうせき)薬師堂(やくしどう)精霊山(せいりやま)をめぐる、生き物を観察したり、歴史を学んだり、内容は盛りだくさん。

川原では平成18年から獣害対策のために牛を放牧する取り組みをされており、庵用津溜では、三代目となる「ポポ」と「ムム」を迎える行事も行われました。

今まで知らなかったことを知ることができたとの感想もあり、地元を再発見する楽しいウォーキングとなりました。



▲園城跡で、井戸の跡を見学する皆さん

新しいことに挑戦したい!

地域でパソコン講座を開催

6月24日(水)、25日(木)、7月1日(水)、2日(木)の4日間、必佐公民館で、新事業の世代交流セミナー「パソコンお助け講座」が開催されました。

住民の方からの手軽に学べるパソコン講座をしてほしいという声を受け、公民館職員と必佐地区のボランティアの方3名がアシスタントとして、14名の受講生の方々の質問に答えられました。

電源の入れ方、マウスの使い方などから、文章や表の作成などを意欲的に学ばれた受講生の皆さん。地域のつながりを生かしたパソコン講座となりました。この講座は秋にも実施されるそうです。



▶アシスタントの方に使い方を聞きながら、パソコンに挑戦

音楽を楽しみながら演奏を

プロの指揮者から指導

7月3日(金)、日野ウィンドアンサンブルと日野中学校吹奏楽部有志の皆さんに、プロの指揮者である篠崎靖男(しのざきやすお)さん(オーケストラ・ムジカ・チエリステ)の指揮者が指導をされました。篠崎さんは、日野の方たちと音楽を通してコミュニケーションをとり、自分の得てきたものを伝えたいと発案され、今回初めて実現しました。

西大路公民館ホールに集まった両楽団は、「コミカルパレード」と「詩人の農夫」の2曲を演奏されました。

参加された方は、「楽しかった!」と、ともに作り上げた音楽を心から楽しめたようでした。



▶篠崎さんの指導を受け、全員で演奏



まちのわだい

みんなで地域を守ろう

内池東で防災訓練を実施

7月5日(日)、内池東自治会で、消防団、必守会、消防署などの協力を得て、防災訓練が行われ、112名が参加されました。午前8時、震度6の地震発生との想定で、サイレンの音を合図に内池東遊園地に集合されました。

モクモクハウス体験では「迷路みたい」と、煙の中で歩くことの難しさを実体験。その他、初期消火訓練や放水体験、備蓄食糧の試食もされました。

内池東の自主防犯組織「ひょうしぎ」では、今年防災アンケートを実施され、災害時の備蓄状況や平日昼間の避難誘導可能人数などを把握。その結果から、後藤富夫区長は、「備蓄を3割から5割にできるようにしたい。自分たちで自治会を守っていききたい」と話されました。



▲たくさんの参加者の方が見守る中、各組代表の方が初期消火訓練をされました



▶水の中で足をゆっくり伸ばす運動

いっしょに違う健康づくり

大谷公園プールで「水中ウォーキング」

日野町体育協会では、新企画として、7月6日(月)から17日(金)までの全6回の日程で、「水中ウォーキング」を開催されました。

「水中ウォーキング」は、水の中の浮力によって体重を軽減し、体への負担を少なくして運動をすることができます。また、水圧によって血液循環が良くなったり、むくみもとれたり和大変効果的な運動です。

参加者の方々は、中井久代先生の説明を聞き、プールの中で飛び跳ねたり走ったりしながら、陸上ではできないのびのびとした運動を楽しまれています。

災害が起きたときのために

平成21年度日野町総合防災訓練

7月12日(日)、日野小学校グラウンド一帯で日野町総合防災訓練が行われ、午前7時に、東近江一帯でマグニチュード7・6の地震が発生したとの想定で約300人が参加されました。

日野地区住民の方が参加して、バケツリレー訓練や応急手当講習などが行われ、日野町建設工業会と日野消防署による救出救助訓練や日野町消防団による消火訓練、日野町赤十字奉仕団による250人分の炊き出し訓練などが実施されました。また、あまり間近で見ることのない滋賀県防災航空隊によるヘリからの空中消火訓練も行われ、防災意識を高める機会となりました。



▶消防署の職員の方に習って毛布で作った応急担架が完成